

# アスベスト部分隔離工法「ふうじろう (ELV)」

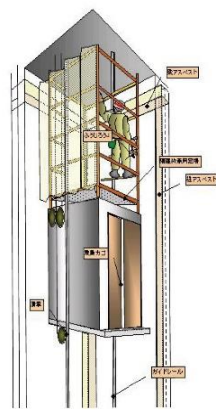
## 概要

日頃、利用者の目に触れないエレベータシャフト及び機械室に吹付けアスベストは存在します。これは、火災が起きた際、鉄骨を熱から守るために施されています。同時多発テロの際は、アスベストのおかげで多くの方が逃げ延びることができました。但し、東日本大震災の際も、建物の揺れに伴いアスベストが崩落し、問題となっております。

しかし、日頃頻繁に利用しているエレベータを長期間止めて除去工事を行うと、多くの方がストレス・不便さを感じる事となります。

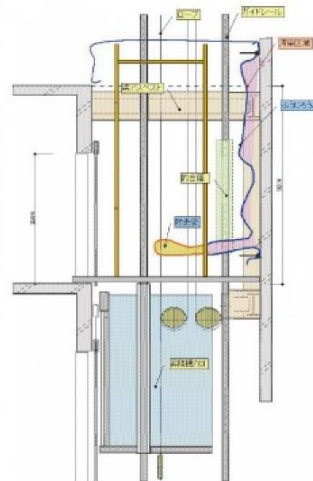
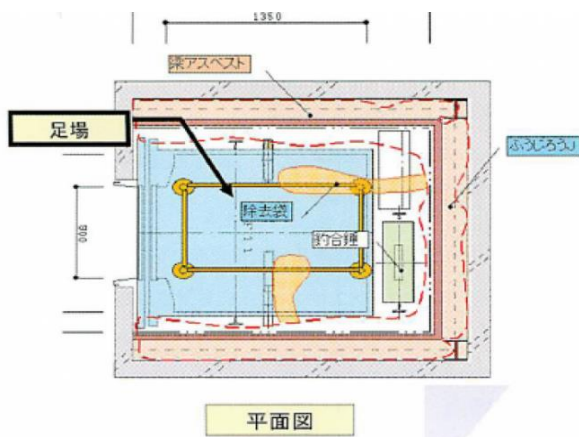
また、エレベータ自体も老朽化に伴い平成25年10月の国土交通省の指針により、耐震化が急がれています。

当社では、夜間及び週末を利用したの除去工法を提案しております。



## 特徴

1. 昼間の利用を妨げずに除去する方法を提案しています。
2. 日本建築センターの技術認定「BCJ」を受けている安全性の高い工法です。
3. 除去作業後のエレベータメンテナンス社員の疾病リスクを減らします。
4. 安定した工期での除去作業が可能です。
5. 仮設物が最低限の為、工期が短く施工可能です。
6. 仮設費用が少ないため、コストを安く抑えられます。
7. 利用者がいない時間帯の作業になる為風評被害が抑えられます。
8. 高層になるほどコストパフォーマンスを発揮します。



## • 用途

1. エレベータシャフト内の除去
2. エレベータ機械室内の除去

実際の利用されている建物としては、地上から足場を組み立てることが大変な5階建て以上の建て以上の建物でよりコストパフォーマンス効果を発揮します。

エレベータが1基しかない建物の施工や連装のエレベータにも対応可能です。

超高層ビル等高い建物程コストパフォーマンスを発揮します。工期は1フロア1～3日です。

